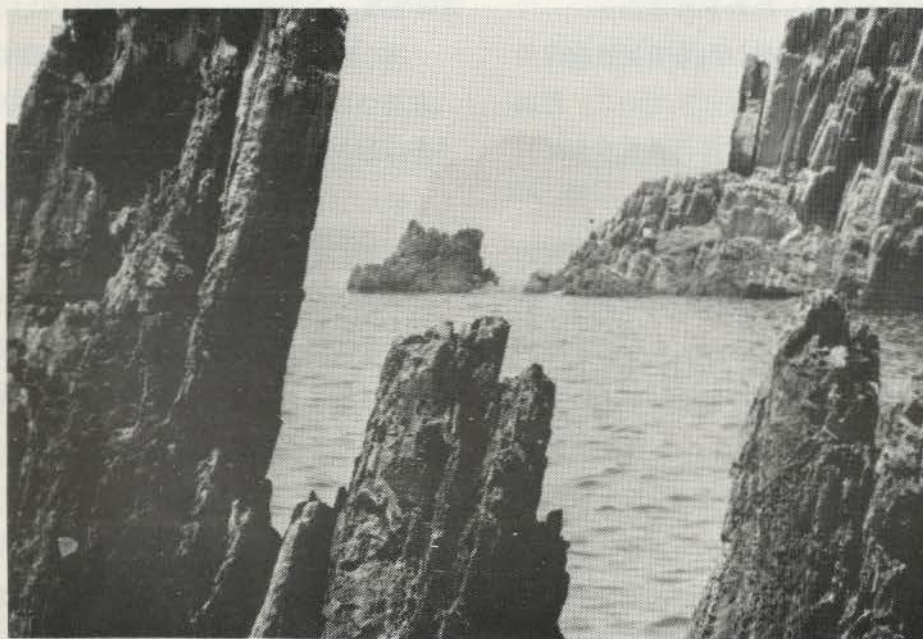


光市医師会報

昭和47年9月発行

No.2



前に進めぬ 駒はない

名人 中原 誠

光市医師会



救急医療連絡協議会

光市市長主催により救急医療連絡協議会が8月23日(午後2.30—5.30)市役所会議室において開催された。

出席者

医師会 林会長、松村、渡辺、河内山、丸岩、福本、松前、伊藤、大野

消防署 倉重消防長、中野課長

警察署 渡辺署長、杉野交通係長

市役所 河村市民部長、内山市民健康課長

挨拶要旨

市民部長 充分の討議を通じ救急医療に万全を期し市民の要望にこたえたい。

消防長 昭和47年7月1日光地区消防組合(光市、大和町、田布施町、熊毛町)が設立され昭和48年3月31日より業務を開始することとなる。業務開始後は市より分離し独立機関となる。体制としては光地区消防本部庁舎を現在地に建設、呼坂、城南に出張所を建設の予定である。人員は現在の44名が80名に増員される。増加設備としては消防自動車1台を増加し、救急車、連絡車を各出張に配置する。

広域消防組合は7月1日に県知事の許可を得9月7日に行なわれる組合議会の決議により正式に発足することになる、救急医療に対する医師会への正式な御願いは9月7日以降になるが今日の連絡協議会で内容をお話し申し上げ御協力をお願いしたい。救急患者は現在年間370名程度であるが広域消防を行ふことにより40%程度増加する見

込みである。此の増加が全部光市医師会の負担にならないように今後の搬送体制を検討したいと思っているが医師会への御負担も現在より多くなると思われますので宜しく御協力の程御願ひしたい。

警察署長 救急医療直接の当事者ではないが極力協力してゆきたい。

医師会長 医師会は救急医療について深い関心をもっている。日々の救急患者の収容及び日曜当直における救急患者の治療を含め現在まで救急医療について充分な協力を致してきたつもりである。今後救急患者は増加することが予想されるが、患者受入側の能力を考慮しないと期待される協力はできない。救急医療は本来市の行政責任において行なわれるべきものであり、その実施は警察、消防、医師会及び市がその限界の中で誠意を示し合って行ふべきものである。御互いの願いが一つである限り話し合いで協調しうるものである、医師会の提出する要望事項について協議願ひたい。

医師会要望の提出事項について協議

協議に先立ち主催責任者である市長の欠席は甚だ遺憾である発言があった。

- (1) 救急車による搬送患者が保険証等を持参しない場合がある、この場合、市の協力が得られるか。

回答 行路病人又は意識不明等の救急患者で身元不明の場合は市、消防、警察等で調査に協力する、市の窓口は市民健康課とする、治療費の徴収について市が代行する事には問題がある。

(2) 初療後の再搬送についても協力をお願いする。

回答 初療後自己の診療所で治療不能の場合の二次搬送についても消防署は依頼があれば協力する。

(3) 救急患者が収容機関に搬送されたとき、すでに死亡している場合の処理は市にお願いしたい。

回答 死亡した患者を救急車で搬送することはできない。

この場合市が全部措置するわけにはいかない。

各診療所で可能な措置を願いたい。

身元不明等安置に相当の時間がかかる場合は市は可能な協力をする。

(4) 交通事故の予後の即断は、困難な場合が多いが、即答は口答にし、予后が推定できる時点で後刻診断書を作製するのではいけないか。

回答 予后が推定できる時点でよい。

(5) 深夜の収容は、私的医療機関では人的関係等の支障で必ずしも可能でない場合がある、市民病院又は他の公的医療機関へ搬送してもらいたい。

回答 救急患者は、最も近い医療機関に運ぶのが原則であるが、当該医療機関でできない場合は他の医療機関に搬送する。

10時以降及び広域救急医療による増加患

者をすべて市民病院に搬送することは、現在の病院の体制では困難と考えるのでこの様なことにならない搬送体制を考える。

(6) 救急往診の際の駐車に困ることがある、警察側の配慮が得られないか。

回答 救急診療の場合の駐車は止むを得ない場合がある。

(7) 広域医療体制の中での日曜当直の在り方につき自治体間で話合ってもらいたい。

回答 広域圏で医師不在と云うことの起らないよう各自治体で責任を分担してやる。

(8) 救急車が、私的に利用されると思われる場合があるのではないか。

回答 結果的に救急でないものを搬送する事はある。

現在要請があれば搬送しているが、今後基準に照らし指導する。

(9) 市は市民病院の救急医療体制について、人員及び予算についてどう考えているか(病院長)

回答 市民病院の人員及び予算については、内部的に検討されたい。

広域救急体制としては、市民病院のみに負担をかけない様な搬送体制を配慮する尚市内の救急指定病院は、光市では1ヶ所であるが隣接也市では私的病院及び診療所も指定病院になっている、これらの点とも併せ救急体制を検討したい。

以上

医師会月間行事

8.9 (水) 麻薬対策担当理事打合せ
於県医師会館 丸岩理事出席

8.10 (木) 定例理事会
於医師会館 午後7.30
出席者 林、大野、松村、渡辺、河内山、
福本、丸岩、松前

報告事項

- (1) 産業医研修会について
- (2) 講演会(私達の環境と健康)について
- (3) 麻薬対策担当理事打合せ報告
- (4) 互助会会則の一部変更について
- (5) 国保保険料減額申請について
- (6) 医師年金加入要請について

協議事項

- (1) 救急医療協議会要望事項について
- (2) 日曜当直アンケートの集計結果及び日曜当直の在廃、日曜急患対策について

8.16 (水) 編集委員会
於梅田病院講議室 午後8.0
大野、渡辺、伊藤、田中、中村、

8.22 (火) 光市医師会8月例会
於医師会館 午後7.30
出席者 16名 林、大野、渡辺、福本、
丸岩、広田、田中、守友、中村(琢)河
内山、田村(勝)、竹中、田尻、松村、
小島、前田

協議事項

1. 日曜当直の在り方(県医アンケート調査)について
意見
(1) 当直医は救急患者のみを扱うかどうか原則を決定する必要はないか
(2) 産婦人科系当直医は別編成にしてほしい。
(3) 救急患者を転送する親病院の確保を望

む。

(4) 日曜当直を行政側と契約して拘束されることには反対である。

2. 救急医療協議会要望事項について

○報告事項

- (1) 麻薬担当理事打合せ報告
(要旨旨文書配布)
- (2) 産業医研修会、講演会(私達の環境と健康)について
- (3) 国保保険料減額申請、医師年金、医師聯盟規約について

8.30 編集委員会

於梅田病院講議室 午後8.0
大野、渡辺、田中、伊藤、中村(琢)富恵
8月分創刊号について批判、及び9月号編集方針

学 会 (9月)

- 日本医学会シンポジウム(第27回)
9月2日 日本医学会主催、大阪市 日本生命中之島研究所
- 臨床肺機能講習会(第12回)
9月2日-7日 主催肺機能ゼミナール 東京青少年総合センター
- 第16回山口県整形外科医会
9月10日 宇部市 室素保健会館
- 第10回山口県内科医会総会
9月10日 長門市 湯本国際観光ホテル
- 産業医研修会
9月11日 岩国地区 市医師会館午後6.0
9月13日 徳山地区 丸福ホテル午後7.0
9月20日 宇部地区 市歯医師館午後7.0
9月25日 下関地区 市医師会堂午後6.0
9月28日 山口地区 県医師会館午後2.0
- 世界麻酔学会(第5回)
9月19-23日 京都市国立京都国際会館

- 臨床心音図研究会
9月23日 東京 日比谷三井ビルホール
- 日本胸部外科学会総会（第25回）
9月28-29日 札幌市北海道厚生年金会館
- 日本消化器病学会秋期大会公開シンポジウム
9月27日 新潟県民会館ホール
- 日本臓器病研究秋季大会（第3回）
9月28日 新潟市公会堂
- 日本消化器病学会 日本内視鏡学会 日本胃集検学会
9月28-30日 新潟県民会館
- 日本臨床血液学会総会（第14回）
10月1-3日 札幌市民会館
- 日本農村医学会総会（第21回）
10月5-6日 石川県七尾市能登総合病院
- 日本学校保健学会総会
10月5-6日 弘前市弘前女子厚生学院
- 日本大腸肛門病学会総会（第27回）
10月7-8日 東京神宮外苑日本青年館
- 日本臨床病理学会総会（第19回）
10月8-10日 久留米 石橋文化ホール
- 日本臨床外科学会総会（第34回）
10月14-16日 金沢市 観光会館
- 周南医学会
10月22日 周東町 玖珂郡医師会

月間ニュース展望

- 8月1日○排気ガス、運輸省やと規制へ、来年度以降新型車
- 8月2日○三井金属が上告断念、イタイタイ病控訴判決前に
- 3日○人体各部からPCB汚染全部に広がる、都公害局が調査発表
- 5日○元星野金山従業員にけい肺患者
 - 日医、診報体系課税特別委を設置 日経連、健保連一辺倒の大蔵省税制調査会との闘い 日医ニュース
 - 地域医療の中での保健所の位置づけ、保健所問題懇談会 日医ニュース

- 新内閣と福祉国家の医療日医ニュース
- 戦後の日本社会の発展過程と日本医師会の歩み。福祉社会と医師年金
- 46年度簡易生命表男子70才を越える
- 大気汚染研究全国大会 医師会主体で開催 日医ニュース
- 8日 福祉充実のため今年度の財政投資資計画2668億円の追加を閣議決定
- 9日○イタイタイ病で患者側が全面勝訴、三井金属側は上告権放棄
- 14日○食品衛生調査会は食品中のPCB残留暫定基準を決定し厚相に答申
近海魚 3.0PPm 遠海魚 0.5PPm 牛乳 0.1PPm 肉類 0.5PPm 卵 0.2PPm 育児用粉乳 0.2ppm 容器包装 5.0ppm
- 和田教授不起訴 殺人罪に相当する新証拠なし
- 16日○30才代の女性の5人に1人は太りすぎ。厚生省国民栄養調査発表
- 森永乳業が17年前の砒素ミルク中毒事件について責任を認め「森永ミルク中毒のこどもを守る会」の方針に全面的に従う、と態度決定
- 8月19日○四日市公害訴訟で敗れた三菱三社は、地元住民の工場内立入調査権を認める。
- 20日○経済団体総合健保組合10月発足。社会保障の破壊活動具体化健保連の医療フェイズム推進 日医ニュース
- 46年度政管健保の決算わずか79億の赤字見込 700億を大幅縮少財政調整をおそれた保険者の謀略 日医ニュース
- 28日 退職金減税など三要求、労使共斗推進、日経連が呼びかけ

ボーリング同好会成績 於 光セントラルボウル

PLAYERS	S 47. 8. 16				G-TOTAL	RANK
	1	2	3	H P		
河村	156	173	155	30	484	優勝
松村	89	97	123	90	309	3位
河内山	145	115	124	0	384	4位
亀田	114	183	179	0	476	2位

H, G 亀田 183

会員の声!!

会員の声

○ 市長名を以て主催する協議会等においては責任者である市長の出席を望みます。(一会員)

○ 8月号掲載の声に回答
政管健保の支払過誤等については早速国保連合会と電話連絡を行った。
支払洩れ分についてはレセプトの写しを社会課に提出していただき社会課は国保連合会に紹介、迅速に処理する

(社会課係長より回答)

2. 医師会の状況

山口県医師会光支部

昭和20年10月10日現在

診療科名	住 所	診療所名	氏 名
全	光市室積	友広医院	友広 利親
内小	光市室積	青木医院	青木 狷介
内外	光市牛島	牛島診療所	曾田鷹之助
全	光市光井	中本医院	中本 百助
全	光市島田	秋本医院	秋本 両助
外	光市浅江	浅海医院	浅海 吾一
内	光市浅江	神部医院	神部 哲郎
内	光市浅江	虹ヶ浜医院	弘中 国香 藤沢 兼道 志熊 孝雄

光市医師会の沿革 (その2)

1. 終戦後の光市

第2次世界大戦の進展に伴う海軍工廠施設の拡充により昼間人口は8万人にも達したこともあったが敗戦前日の昭和20年8月14日の被爆により、工廠施設は一瞬にして廃虚と化し終戦と共に人口も急減し、もとの一寒村に転落した。工廠の遺産として光市に与えられたものは軍人宿舎、工員住宅等の住居施設と廃虚と化した8千坪の工廠跡地及び2万屯の給水能力を有する上水道施設のみであった。光市の人口は昭和20年10月1日現在34,813人であった。敗戦による虚脱と共に諸物資と同様医薬品の不足も甚しく医業経営も難渋を極めた。

支 部 長 県医師会議員 秋本 両助
副支部長 県医師会予備議員 友広 利親

光 市 の 大 気 汚 染

大気中SO₂測定成績

調査月 7月
提 供 光市役所

測 定 日	測 定 時 間											
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
測 所	全測定	最高値	最低値	0100	0100	0200	0200	測定	日平均	日平均	24時間平均	24時間平均
	時間数	P.P.M.	P.P.M.	時間数	時間数	時間数	時間数	時間数	0051	0051	ppM	ppM
市役所本庁	733	0.185	0.009	8	8	0	0	31	0	0.046	0	0.023
浅江公民館	704	0.112	0.006	6	4	0	0	29	0	0.057	0	0.033
宝徳公民館	630	0.056	0.009	0	0	0	0	25	0	0.030	0	0.018

＝ 随 筆 ＝

スリッパ

河内山 清

とんぼの図柄入りの夏の涼しそうなスリッパを買った。患者さんのと間違わぬ様何か印しをしましょうかと看護婦さんが云ふ。「はげ頭」のはの字でも書いて居いて貰おうかと云ふとそれよりも「H」と書きましよう云ふ。何んであんなことを云ふのかいなあ、あんまりエッチなことを云ったこともないのに…。それとも態度で示したことがあったのかな…桑原々々。謡の会で京都へ行く汽車の中同行のF先生の週刊何とやらを借りて読む。アベック夏の案内図色々の場所で色々の姿勢でよくもまあこれだけ書いたものと感心して読んでいるうちに、これはしたり、なんと墓地へのお誘い。海浜公園なんか何時も満員、そこへゆくと墓地はすいている。仮に人が通りかかっても立ち並ぶ墓石にかくれておいそれと見つからぬ。たとえ苦しうなうめき声が聞えても、ゾーッと背筋を凍らせて逃げて了うのがおち。こんな安全な気がねのいらぬ場所は他にない。おまけに墓石に腰かけてなにするとあの固いひんやりした墓石の感触が何とも云へず最高にシビレて了いそうであるそれにしても下にいらっしやる御先祖様はたまったものではない。赤軍派は生きているものをなぶり殺したりするし、このアベック死んでいる人を生き返らす様な残酷なことをする。誠に神仏をおそれざるよき時代になった

もの。そこで古への狂歌をもじって一首、
世の中は恋の無情の二階だて
上も死に行く下も死にゆく

「おおかわ」を習いはじめて三年。会でうつときは馬の革を炭火で一時間以上パンパンになる迄あぶらねばいゝ音が出ない。あぶり過ぎていけぬ。革のあげ方のコツを覚えるのに三年かゝる。冬はいゝが夏なんか汗水たらして大変なもの。炭火をつぎ足したり時に革をはじいてみたりが弟子の仕事。時には炭の皮のところがパチパチはじいて火の粉が飛んでこまることがある。いじればいじる程火の粉が激しくなる。これを見ていた鼓の先生火に向ってげんこつをさっと突き出した。とたん火の粉がびたりととまる。何のまじないかなとよく見ると、指の間から何かのぞいている様な妙に色っぽいげんこつである。成る程と合点がいった。それにしてもよく効いたもの。先生曰くこのサインを出せば走っている汽車でも止まると。この間の日航機の墜落事件、地上で誰かこのサインを出していたのちがうか。ひよっとしたらペニシリン、ショックで泡をふいている患者さんにこのサイン出してみたら、とたんパッチリ目をあいて生き返るかも知れぬぞ。馬鹿も休み休み云へ。そんな非ヒポクラシ的なことを云ふと林会長にどやされるぞ。

各年度急患発生数

	45年	46年	47年(7月末)
交通事故	90件 (28.8%)	101件 (27.3%)	69件 (19.7%)
急患	107件 (34.4%)	152件 (41.1%)	147件 (41.8%)
その他	62件 (19.9%)	84件 (22.7%)	108件 (30.8%)
不搬送	53件	33件	27件
計	312件	370件	351件

救急予想資料

1. 過去の交通事故件数

	年	件数	死者	負傷者
総合計	45	389	18	539
	46	312	21	419
光市	45	256	9	354
	46	189	9	245
小計	45	133	9	185
	46	123	12	174
田布施町	45	61	6	88
	46	50	1	66
大和町	45	15	0	21
	46	15	1	15
熊毛町	45	57	3	76
	46	58	10	93

2. 予想される救急需要(光市を除く)

対交通事故出動回数	交通事故以外の出動回数	合計
2ヶ年平均 事故件数 (A) (B)	人口 C × 0.0044 (C) (D)	(B) + (D)
180 79	38386人 × 0.0044 = 169	248

3. 光市と田布施町の予想と実体

対交通事故出動回数	交通事故以外の出動回数	合計
2ヶ年平均 (45, 46) 事故件数 (A) (B)	人口 C × 0.0044 (C) (D)	(B) + (D)
光市 予想 223 98 46年の 実体 101	47253人 208 269	306 370
田布施町 予想 55 24 46年の 実体 19	15309人 67 28	91 47

ビデオ・カセット!!

県医師会は都市医師会又は県医師会員に対しビデオ、カセットの購入貸出しを実施している。借用は所定の申込み書による。1回の貸出しは2本、借用期間は5日間である。

保管目録

- (1)心音図の診方 (2)虚血性心疾患の診断と治療 (3)胃のX線診断 (4)消化性潰瘍の外科 (5)糖尿病の診断 (6)片麻痺のリハビリテーション (7)救急蘇生法の実際 (8)ペインクリニック (9)カセット眼底検査 (10)カセット胃癌の外科

日曜当直調査結果

6月11日—8月13日
日曜日 10回

	患者数	系列別	救急患者数	対系列別患者数比
内科	175 (370%)	内科系 378 (79.9%)	73 (27.4%)	41.7%
小児科	203 (42.9%)		138 (51.9%)	68.0%
外科	78 (16.5%)	外科系 95名 (20.1%)	53 (19.9%)	68.0%
整形外科	7 (1.5%)		1 (0.4%)	14.3%
産婦人科	6 (1.3%)		0	
眼科	3 (0.6%)		1 (0.4%)	33.3%
耳鼻科	1 (0.2%)		0	
計	473 (100%)		266 (100%)	56.2%

時間別患者数

年齢別患者数

午前	226 (47.8%)	6才以下	219 (46.3%)
午後	216 (45.7%)	7才—20才	57 (12.1%)
時間外	31 (6.5%)	21才—40才	113 (23.8%)
		41才—60才	57 (12.1%)
		60才以上	27 (5.7%)

会員の異動

渡辺幹氏 8月1日入会 八幡製鉄病院
(北九州市医師会)より光製鉄所診療所長として
転任

あ と が き

絢爛たる民族の祭典オリンピックもアラブ、ゲリラの侵入により一瞬にして惨劇の巻と化す、限りなき悲憤。内に日中復交と日本列島改造論の華やかな百家奏鳴の楽。正に内外の情勢激動の時。

然し自然は正直に静かに移り変わる。数万の肉体の乱舞した浜辺にも今は、人影もない。リズムカルに打ちくだけの白波にちよっぴり淋しいムードイなものを感じる。

秋へのいざないが始まる、読書の秋、沈思の秋、スポーツの秋、会員諸兄の生活が更に実り豊かなものになることを祈る。

秋灯やなす事ありて文机(春梢女)

新消化性潰瘍・胃炎治療剤

クロケール錠[®]

(アルミニウムジヒドロオキシアラントイネート製剤)

アラントインの優れた抗潰瘍作用！



沢井製薬株式会社

本社 大阪市旭区赤川町1-10
研究所・東工場 大阪市旭区赤川町1-28
支店 東京都中野区中央1丁目28-8

動脈硬化性諸疾患の治療に
優れた作用を持った新薬を開発！



脂質代謝改善剤

コレキサミン錠



キョーリン薬品

[2, 2, 6, 6-Tetrakis (Nicotinoyloxymethyl)cyclohexanol]
一般名 (I.N.N.) : ニコモール (Nicomol)

東京都千代田区神田駿河台2-5

輸液の総合メーカー 小林薬工

輸液用電解質液

ハルトマン液「小林」

五炭糖代謝療法剤

ハルトマン-GI-4号

ソルビット加乳酸リンゲル液

キシリット5注「小林」

血流改善

ハルトマンS注「小林」

必須アミノ酸加低分子デキストラン製剤

ネッサアミン-D₂

トーコー薬品

山口県光市正門町514

発行所	光市小周防1633の2林医院内 光市医師会 TEL 0833 (91) -0519
発行者	林 孝之
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社

心性浮腫、腎性浮腫、妊娠
浮腫および妊娠中毒症など
の治療・改善に

脱塩性利尿降圧剤

ウレックス

〔特 徴〕

ウレックスはフロセミドを成分とする利尿剤で、従来の利尿剤にくらべて利尿効果は極めて強く、すぐれた耐薬性を有するとともに、速効性、安全性などすぐれた特徴を有しています。

〔成分・分量〕

ウレックスは、1錠中フロセミドを20mg、40mg含有します。

〔包 装〕

20mg・40mg=50錠 250錠



持田製薬株式会社

東京都新宿区四谷1ノ1

水溶性天然ホルモン！



結合型エストロゲン製剤

健保適用

更年期障害に

プレマリン錠

〔包装〕 0.625mg 105錠 1.25mg 105錠

血管壁の強化・止血に

静注用プレマリン

〔包装〕 20mg 1バイアル(溶解液5ml添付)

製造発売元 東洋醸造株式会社

提 携 アイヤースト・ラボラトリーズ・米国